

第69回広島平和美術展ニュース

【広島平和美術展の趣旨】 いつの時代においても戦争は文化の破壊者でした。核戦争がはじまれば、人類の破滅を意味します。芸術が人間のためである以上、私たちは芸術を愛し、戦争を否定し、戦争につながるすべての政策、企て、準備、実験などに反対します。特に広島に生きる私たちにとって、それは強い共通の願いです。8月6日を中心に集まり、作品を通して世界平和への願いを表わすために、総合美術展を開き、世界恒久平和を実現します。

1955.8



『バラに恋して・・・シーアネモネ』

工芸 岩本弘美

[平和美術展開催概要]

会 期：2023年7月29日（土）～8月3日（木）

開催時間：10：00～18：00

（ただし最終日8月3日のみ16:00閉場入場は15:30まで）

（いけばな後期生け込は7月31日（月）18:00時より）

開催場所：広島県民文化センター：地下展示室

広島市中区大手町1-5-3（Tel. 082-245-2311）

平和の壁に あなたの花一輪を！

会長挨拶

このたび、広島平和美術協会会長に就任いたしました。現在の世界情勢は、核兵器廃絶の声が上がりながらも、核兵器による威嚇や軍備の増強が進む極めて不安定な状況です。被爆地広島で開催する平和美術展は、たとえ小さな力であっても市民が平和について意識を高め合うことに貢献できると信じています。かつて第1回展を開催した先達たちの熱い志を受け継ぎ、第69回展を迎えたいと思います。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

広島平和美術協会

会長 福長 弘志

★主 催：広島平和美術協会

★後 援：広島県・広島県教育委員会／広島市・広島市教育委員会／（公財）広島平和文化センター／

（公財）ひろしま文化振興財団／（公財）広島市文化財団／中国新聞社／NHK広島放送局／中国放送／

広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／NPOひろしまインターネット美術館



メッセージ

広島市長 松井一實

第69回広島平和美術展が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。広島平和美術協会は、昭和30年に第1回の本美術展を開催されて以来、様々な芸術作品を通じて核兵器廃絶と世界恒久平和への願いを多くの人に届ける活動を展開されており、その長年にわたる御努力に対し、深く敬意を表します。美術を始めとする文化芸術は、言葉や国籍の違いを越えて感動を分かち合い、共感を生み出すポジティブな力を持っており、「国際平和文化都市」を目指す本市が振興する「平和文化」の醸成に大きな役割を果たすものと考えています。平和への思いの込められた貴協会の活動は、正に「平和文化」そのものであり、本展覧会を通じて、作品に込められた平和への願いが市内外に更に広がっていくことを心より期待いたしますとともに、本美術展の御盛会と広島平和美術協会のますますの御発展を祈念いたします。

今、広島・平和・美

松田 弘（東広島市立美術館 館長）

昨年の大晦日、NHKの紅白歌合戦で、桑田佳祐、佐野元春、世良公則、Char、野口五郎ら5人による「時代遅れのRock'n Roll Band」という歌を聴いた。歌い出しは「この頃「平和」という文字が朧げに霞んで見えるんだ」というフレーズ。途中では「子供の命を全力で大人が守ることそれが自由という名の誇りさ」と歌い、「No More No War 悲しみの黒い雲が地球を覆うけど 力の弱いものが夢見ることさえ拒むと言うのか?」と続く。

この5人のアーティストたちは全員67歳の同学年だそう。実は私も同学年の一人。人生の残り時間を意識し始めた今、改めて「平和」や「子供の命」や「力の弱いものが夢見ること」がどれだけ大切なものであるかと思う。

広島平和美術展に集う方々も同じ思いではないか。この美術展は「広島」「平和」「美術」という言葉を掲げている。これらはいずれも大切な意味を持っていて、それは現代においてますます重要性を増している。

出品者の声

菊岡洋二（絵画）【78年目の夏】

新型コロナウイルスによるパンデミックや高まる核兵器使用の脅威、不安が高まる国際情勢など私たちは多くの課題に直面しています。広島は原子爆弾による破壊を経験したからこそ、その悲惨さと平和の大切さを伝えるため行動して行く使命があります。一人ひとり小さな存在ですが、協力することで大きな力となります。

七十八年前、亡くなられた方々と悼み、私たちみんなでより平和な未来を一緒に創っていくため、平和に思いを込めて身近なことから行動を始めたいと思います。

長岡美香（工芸）

押し花は切り花や鉢植えばかりでなく、道端に生えている草花も花材にします。天気の良い日に散歩がてら植物採集に出かけられるのも平和だからこそ出来ることです。この平穏な世界が少しずつでも広がっていくことを祈りながら、今年も穏やかに創作活動ができることに感謝します。

立木礼子（いけばな）

15年前に他界した被爆者である母から聞いた悲惨な記憶は次第に薄れ、とどめておく事が難しくなってきました。真夏のこの広島平和美展に、毎年いけばな参加をしていた母に、思いを馳せる時が又やってきました。原爆投下で焦土となった広島に、いち早くキョウチクトウの花が咲いたと聞きます。お花が生きる希望となり心を和ませてくれることを願いながら今年も参加いたします。

湯川厚子（絵画）

平和美展で私たちが絵画やいけばな、工芸、書、写真とさまざまに自己表現出来ることは大変うれしく、幸せな事です。平和な世の中を願って出品させていただいています。今も先の見えない紛争、戦争が続いています、早く終焉することを願うばかりです。

菅原英明（書道）

私の平和美術展との出会いは、創設者の1人四国五郎さんの作品でした。最初、四国先生の作品を見たとき自分に問いかけられるような不思議な感情になりました。それから20年余り師事し、先生の人柄にふれました。いまだに心に残る言葉が「何百人の人が作品を見ても、一人の人が褒めてくれれば最高の作品であると喜びなさい」です。この言葉を肝に銘じて、平和を願いながら作品制作を続けたいと思います。

第68回平和美術展会計報告（2022年）

費目	収入（円）	費目	支出（円）
出品料	582,000	賃金	51,000
入場整理券	194,400	消耗品費	142,307
広告料	60,000	通信交通	63,092
雑収入	4,294	手数料	7,422
助成金	140,000	委託費	157,120
準備金	89,361	使用料	643,020
		雑費	6,094
合計	1,070,055	合計	1,070,055



第68回平和美術展 会場風景

第 69 回 広島平和美術展作品募集のご案内

- 会 期** 2023年7月29日(土)～8月3日(木) (6日間) 10時～18時
ただし、最終日は入場 15 時 30 分, 16 時 00 分閉場
- 会 場** 広島県民文化センター地下展示室: 広島市中区大手町 1-5-3 (Tel.082-245-2311)
- 種 目** 絵画・彫刻・書・写真・いけばな・デザイン・工芸・インスタレーション 他
- 形 式** アンデパンダン展 (無審査)
- 点 数** 1 種目 1 点 (作品裏面並びに箱に題名に氏名, 連絡の取れる電話番号を明記する)
- サイズ** 絵画 S50 号以内 (額は細縁, ガラス不可) : 書 (横 半切の 1/3 以内)
- 出品料** 1 点につき 4,000 円 (高・大学生は 2,000 円), 県外・国外出品者は出品料無料 (運送代は自己負担)
- 申込み** 6月20日(火) 締切 (期日厳守)
- 所定の払込用紙にて申込み, 出品料を納入して下さい。出品内容については, 申込はがきに記入漏れがないようにお願いします。題名が記入されていない場合はキャプション及び出品者目録の題名部分は空白にさせていただきます。(申し込みはがきには切手を貼ってください。)
- 申込用紙のない方は, 下記の取扱所に置いております。
- ★ 出品者の氏名と題名にはふりがなをつけて下さい
- 搬 入** 7月28日(金) 10:00～12:00 搬入 (時間厳守)
- 陳 列** 7月28日(金) 13:00～皆さんできるだけ, 陳列作業に参加ご協力ください
- 開 会** 7月29日(土) 10:00～(オープニングセレモニー)
- 搬 出** 8月 3日(木) 16:00～18:00 の間に搬出
(所定時間を過ぎた作品は, 安芸美材に保管して頂きますので, 各自取りに行って下さい)
- 入場整理券** 一般 300 円(前売り 200 円), 小中高生, 被爆者の方は無料 (被爆者手帳提示)
出品者は振込受領書を提示してください
入場整理券が必要な方は枚数と金額を記入し申込時に一緒に送金してください
- お問い合わせ** ⇒事務局〒730-0016 広島市中区幟町 6-15-401 好永 良子方 Tel 080-3872-2768

★申込用紙 取扱所★

安芸美材	中区鉄砲町	082-221-9766
ギャラリー・レイノ本店	中区上幟町	082-221-2305
ピカソ画房	中区堀川町	082-241-3934
ブラック画材	中区鉄砲町	082-211-3322
古城園	中区本川町	082-234-2227
松籟堂	中区袋町	082-249-3036
西文明堂	中区袋町	082-247-9466
木利画材	安芸区船越南	082-284-2077
小畑百花園	中区幟町	082-221-3515



2022年 オープニング